

子どもたちが楽しく通える  
学校になるといいね



意見交換会で寄せられたご意見と回答

ご意見・ご質問	回答
<b>【グラウンドについて】</b>	
<p>○広いグラウンドを確保してほしい。</p> <p>○小学校・中学校のグラウンドを市として準備してほしい。</p>	<p>西小倉地域小中一貫校を建設するにあたっては、約13,000㎡のグラウンド等の面積が確保できるよう計画を進めています。小中一貫校では、小学校6学年、中学校3学年が、同じグラウンド・体育館を使用することとなりますが、体育の授業については、主にメイングラウンドと2つの体育館を使用することで、支障はないものと考えています。加えて、複数の学年が同時にグラウンドを使用する際には、授業の内容に応じてサブグラウンドの使用も考えています。</p>
<p>○放課後の遊び場を確保してほしい。</p>	<p>サブグラウンドを放課後の子どもたちの遊び場として活用することを想定しています。また、現在の設計業務の中で、敷地全体として屋外活動スペースを、より多く確保できるように検討していきます。</p>
<p>○第2グラウンドを確保してほしい。</p>	<p>同一敷地外のグラウンドについては、移動時間による授業時間やカリキュラムへの影響が避けられず、加えて児童生徒の移動時や現地での安全確保にも課題が大きいため、設置を考えていません。</p>
<p>○西小倉小学校や南小倉小学校のグラウンドの活用、消防署の移転なども考えてほしい。</p> <p>○地域開放ができるようにしてほしい。</p>	<p>今後、跡地の活用を検討する中で、現在の学校開放の利用状況も踏まえながら、市民の活動の場を公共施設として、どのような形で提供するか、庁内の関係部局において検討していきます。</p>
<b>【正門について】</b>	
<p>○正門が狭いのではないか。</p>	<p>今後基本計画、基本設計を進める中で、検討していきます。</p>
<b>【給食について】</b>	
<p>○給食室は自校方式（温かさ・調理師が細やかな配慮・調理員との交流・食育）が良い。</p> <p>○中学生にも自校方式の給食を食べさせたい。</p> <p>○避難所となった時に炊き出しもできるようにしてもらいたい。</p>	<p>今後基本計画の中で、検討していきます。</p>
<b>【校舎について】</b>	
<p>○A案の回廊型は教室が暗いのではないか。</p>	<p>回廊型は中庭から光を取り入れる構造となっており、他市の先進事例においても、中庭により十分な明るさを確保できることを視察、聞き取り等により確認しています。</p>
<p>○校舎が住宅に近い。プライバシーが守られるのか。</p>	<p>いずれのプランでも、校舎は住宅との距離を約15メートル以上確保するほか、ひさしやフェンス、植栽の設置等、今後プライバシーを守るための対策を設計の中で検討していきます。また、北側には使用頻度の低い特別教室等を配置していくことも検討します。</p>

○回廊型は生徒がぶつかるのではないか。	いずれのプランでも、視認性が十分確保できるよう対策を実施します。
○プールをなくしていく、ということは考えていないか？	他の小学校と同じ規模のプールを設置する方向で検討しています。
○他校の中庭がある校舎は芝生のグラウンドで遊べるようになっていて良い。教室にはホワイトボードが使われている。他の学校をたくさん見ても良いのでは。	他市の先進事例について視察の実施を検討します。
○昇降口を広く持ってほしい。	今後基本計画の中で、児童生徒の体格差を踏まえたゾーニングや、動線の分離等を検討するなど安全には十分配慮していきます。
○今後、クラスの少人数化が進むこととなったら、クラス数は増えるので、余裕のある設計が必要。	開校時には、小学校全ての学年で35人学級となることを踏まえ、諸室の配置、規模を検討します。
○教室の広さは十分確保してもらいたい。	現在、進めている基本設計期間中に検討をしているところですが、ウィズコロナ・ポストコロナを踏まえたゆとりのある教室の大きさを確保していきたいと考えています。
<b>【今後のスケジュール・説明会について】</b>	
○市が説明会を開いてほしい。 ○今後、説明会はどのような頻度で、どの時期に行われるのか。	市教委としては、保護者、地域、学校関係者等を代表した委員で構成する「西小倉地域小中一貫校整備検討委員会」を設置し、基本コンセプトを基に、小中一貫校の学校施設整備等に関する事項につきましては、学校部会を開催し、ご意見を伺ってきたところです。 今後は、基本計画素案の内容をより具体的に示した配置イメージ（案）をもとに、市教委主催で保護者等説明会を実施予定です。
○基本計画を示すのに説明会はあるか？何階建てで、何クラスあって、というのが宇治黄檗学園の素案では出ている。粗い計画が宇治黄檗学園では3案、もっと詳しい内容で出ている。 ○今この段階は素案。基本計画で説明会をして、基本設計に進むものと思うが、不安を感じる。おそらく、設計業者はどんどん進めているのではないか。市教委が設計の責任をもっているのかが不安だ。	西小倉地域小中一貫校の整備にあたり、基本的な考え方として、教育環境をより良いものとする、かつ、子どもたちの負担を可能な限り軽減することを基本的な考え方としているところです。校舎の配置については、こうした考えのもと、工事期間による児童生徒への影響、学校統合に伴う児童生徒の負担を軽減する観点から、現グラウンド側に建設することが適切であり、市教委として現段階で考える2つの案を、基本計画素案としてお示ししているものです。
<b>【通学路について】</b>	
○北小倉小学校からは遠くなるが、バスは通るのか。育成に入ると夜遅くなるので、心配。 ○北小倉小からバスが出る場合には、安全面の検討も必要。 ○北小倉からは通学路が遠くなるので、立ち番も難しくなる。 ○車との接触、不審者なども心配。北小倉からの通学路は7時から8時はバイパスに抜ける裏道になる。見通しの良い歩行者道路を整備してほしい。	北小倉小校区では現在の通学距離より長くなるものの、最長通学距離は約1.9kmであり、宇治市では同等もしくは同等以上の通学距離を持つ小学校（宇治小学校2.1km、菟道第二小学校1.9km）があることから、過重負担とまでは言えないと考えており、スクールバスの配置は考えていませんが、通学路の安全対策、通学の負担軽減については、今後検討していきます。

【小中一貫校のメリット・デメリットは】	
<p>○小中一貫のメリットを知りたい。一貫校のメリットは何なのか。何が実現できるのか。</p> <p>○宇治黄檗学園の課題などを知りたい。</p>	<p>宇治市では、平成24年度から全市で小中一貫教育を実施し、今年で10年を迎えます。施設一体型小中一貫校として開校した宇治黄檗学園では、小中学校教員の協力・協働による9年間を見据えた一貫した教育を推進しております。小学生にとっては、普段の学校生活の中に、身近なお兄さんや、お姉さんがいることで憧れが芽生え、また、中学生にとっては自分が辿ってきた姿を見ることで、小学生の目標となるよう自覚が生まれます。こうした日常が、児童生徒の自己有用感や自尊感情を育み、穏やかな学校風土を創り出していることが、施設一体型小中一貫校の良さであると考えています。</p> <p>宇治黄檗学園では開校当初に保護者の方等から不安の声として上がっていた授業時間の違いやグラウンドと体育館使用に当たっての調整などについても、学校現場において、子ども達の動線や時間割等を創意工夫される中で解決されており、スムーズに学校運営を行っています。</p>
【その他】	
<p>○避難所、防災についてどう考えているか。避難時、体育館は上階になったら登れない。</p>	<p>地域における学校の果たす役割は、社会に開かれた教育課程の編成を始め、コミュニティの活性化や避難所としての活用等大きなものがあります。避難所機能については、浸水被害想定を踏まえた施設となるよう、その必要性を認識しており、今後庁内の関係部局で協議していきます。</p>
<p>○子のいる親は出にくい時間帯の意見交換会なので、考えてほしい。</p>	<p>今後の説明会では土日の開催等も検討していきます。</p>
<p>○コンセプトについて、イニシャルコストのことが書かれていることに違和感。</p>	<p>市として厳しい財政状況を踏まえ、限りある財源を最大限に生かしながら、西小倉地域の核となる小中一貫校の整備を行っていきたくと考えています。</p>
<p>○教員の体制はどうなるのか、人数が減るのであれば心配。</p>	<p>学校統合に伴い、クラス数に応じた教員体制となることにより、西小倉地域の小中学校教員の総数は減少することとなりますが、施設一体型小中一貫校の利点を生かし、小学校、中学校の教員のより緊密な連携により小中一貫教育を進めていきたいと考えています。</p>
<p>○図書館や保健室はどうなるのか、</p>	<p>今後基本計画の中で、検討していきます。</p>
<p>○騒音対策は小中で時間のずれもあるので、対応できる設計をお願いしたい。</p>	<p>今後、基本設計・実施設計を進める中で、児童生徒の発達段階に応じたゾーニングを検討していきます。</p>
<p>○検討委員会が素晴らしい内容をまとめてくださったことをきちっと反映してもらいたい。</p> <p>○どのコンセプトも素晴らしいので、地域のこと学校のこと考えて実現してほしい。</p>	<p>今後、基本計画・実施設計を進める中で、可能な限り検討委員会等でいただいたご意見を踏まえて整備を進めていきます。</p>
<p>○開校場所が西小倉中学校に決まった経緯を知りたい。</p> <p>○場所は別で検討してもらえないか？</p>	<p>地域を中心に設置された「西小倉地域小中一貫校開校準備協議会」においても、より広い敷地がとれる場所を開校場所とすべきとの意見、児童生徒、保護者、教師への負担が大きい先行統合は</p>

	避けるべきとの意見が複数あり、西小倉中学校を開校場所とすることとしました。
○3小1中の一貫校から北小倉が分離可能か？	西小倉地域の地域性をふまえ、分離はせず、西小倉小学校、南小倉小学校、北小倉小学校と西小倉中学校を統合し、小中一貫校として新設の学校を整備していきます。
○どのくらいの予算があるのか、分からないと意見を出しづらい。公表できるか。	建設費については、基本設計・実施設計を経たのち、事業費の見通しが立つものと考えており、現在、建設費は未定です。
○設計業者は決まっているのか？予算措置はあるはずだと思うし、報告されているはず。	設計業者は、公募型プロポーザル方式により選定し、(株)類設計室と契約を行いました。結果については、市ホームページ等で公開しています。
○設計管理費は入っているのか？ずいぶん高い印象だ。	設計管理費は含まれていません。宇治黄檗学園の設計時よりこの間、国土交通省等告示により設計費にかかる積算基準が数回改定されており、合わせて京都府建築工事設計業務等積算基準も改定されたため、設計費用が増加しているものです。